

ELECOM

ドライブレコーダー再生専用プレーヤー ELECAM 操作ガイド

このたびは、ドライブレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
最初に「スタートアップガイド（設置ガイド）」をお読みの上、取り付け、電源の接続など、
設置を行ってください。

「ELECAM 操作ガイド」（本書）には、ドライブレコーダーで記録された映像の再生や、
microSD カードのフォーマットなどを行う再生専用プレーヤー「ELECAM」の使用方法
が記載されています。

目次

ELECAM について	2
ELECAM をインストールする	3
インストールの前に	3
ELECAM をインストールする	3
ELECAM をアンインストールする	5
ELECAM を起動する／終了する	6
microSD カードをパソコンにセットする	6
ELECAM を起動する	6
ELECAM を終了する	7
ELECAM ウィンドウの構成	8
記録された映像を再生する	10
microSD カードに記録された映像を再生する	10
パソコンにバックアップした映像を再生する	10
全画面表示にする	11
画像の一部を拡大する	11
イベントを検索する	11
運転記録を確認する	12
設定を変更する	15
設定を変更する	15
設定項目の一覧	16
データをパソコンにバックアップする	18
記録データをバックアップする	18
記録設定をバックアップする	19
ELECAM で microSD カードをフォーマットする	20
microSD カードをフォーマットする	20
製品仕様	22
ユーザーサポート	23

ELECAM について

ドライブレコーダーは、内蔵された G センサーや GPS によって、事故時の状況や日常の運転の様子などを、映像や位置情報として保存し記録できます。ドライブレコーダーを活用しますと、事故処理でのトラブルの低減は安全運転やエコドライブへの意識向上に役立てることができます。

本体の液晶ディスプレイで保存した映像を確認できますが、Windows パソコンで記録した映像や情報を確認したり、保存したりするための再生専用プレーヤー「ELECAM」が付属しています。

再生専用プレーヤー「ELECAM」の特長は、次のとおりです。

特長

- ドライブレコーダーで撮影された動画を再生できます。
- 走行中の記録映像と音声、走行中の車の位置を示すマップ、走行時の G センサーの値の情報を同時に再生できます。
- 記録する映像に関して、画質や衝撃センサーの感度などさまざまな設定ができます。
- 「ELECAM」では、記録ファイルを種類ごとに表示、記録時間とドライブレコーダーに搭載の G センサーに衝撃が加わった時点での動作状況の分析、確認ができます。
- 映像の再生は、早送り、コマ送りができます。例えば事故の映像などは前後の映像を早送りで、瞬間の映像をコマ送りにして確認することができます。
- 記録された映像を、切り取りたい箇所で静止画（JPEG）ファイルに変換して保存することができます。その他にも、衝撃センサーの値や GPS 情報（テキスト）も保存することができます。
- ドライブレコーダーに内蔵されたマイクで車内の音声も映像に合わせて録音でき、車内での会話や緊急時の音声を記録することができます。

ELECAM をインストールする

ELECAM をパソコンにインストール、アンインストールする手順を説明します。

インストールの前に

インストールする前に、お使いのパソコンが次の条件に合っているかどうかを確認してください。

- ハードディスクに、使用する microSD カードの容量を超える空きがあること
- OS が、Windows 7 (32bit/64bit)、Windows 8.1 (32bit/64bit)、Windows 10 (32bit/64bit) であること
- ディスプレイ解像度が 1280 × 768 以上であること

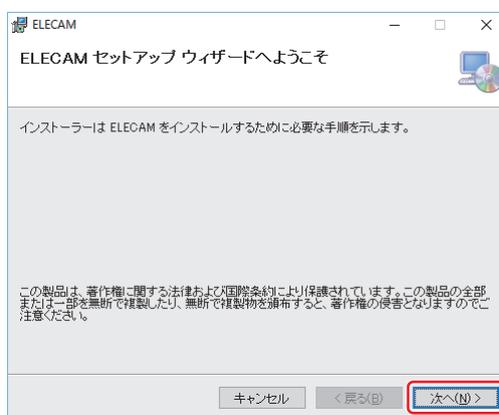
ELECAM をインストールする

ドライブレコーダーに同梱されている「ダウンロードガイド」をご覧ください。プレーヤー（再生専用ソフト）「ELECAM.msi」をダウンロードしてください。

1. 「ELECAM.msi」をダブルクリックします。
インストーラーが起動し、スタート画面が表示されます。

2. 「次へ」ボタンをクリックします。

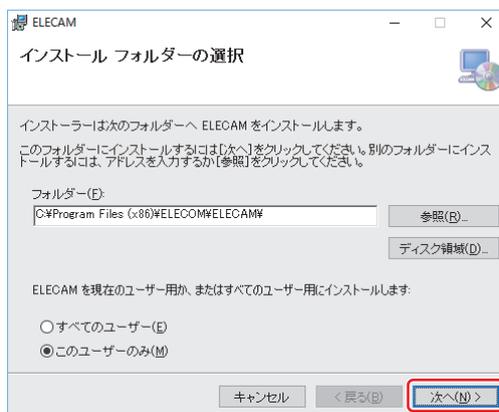
「インストール フォルダーの選択」画面が表示されます。



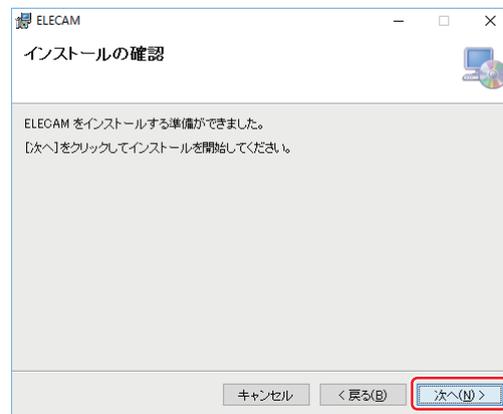
3. インストール先のフォルダーを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

インストール先のフォルダーを変更したい場合は、「参照」ボタンをクリックして、インストール先のフォルダーを選択してください。

「インストールの確認」画面が表示されます。

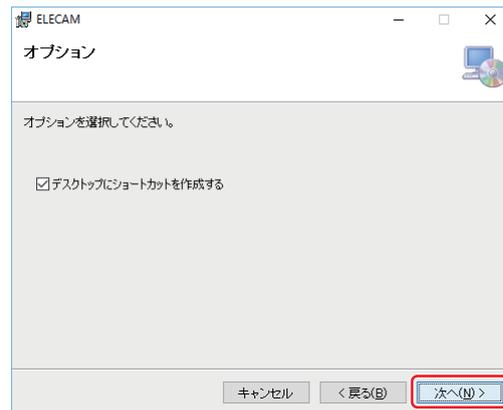


4. [次へ] ボタンをクリックします。



「オプション」画面が表示されます。

5. オプションを選択して、[次へ] ボタンをクリックします。

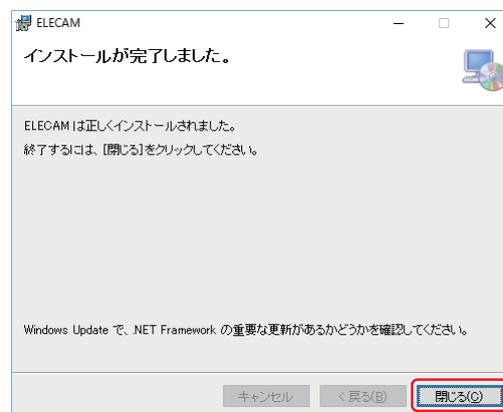


インストールを開始します。終了すると「インストールが完了しました。」画面が表示されます。

メモ

[ユーザーアカウント制御] ダイアログボックス表示されたら、[はい] ボタンをクリックしてください。

6. [閉じる] ボタンをクリックします。



ELECAM がインストールされ、デスクトップに ELECAM のショートカットアイコンが表示されます。ただし、手順 5 で「デスクトップにショートカットを作成する」のチェックを外した場合は、表示されません。

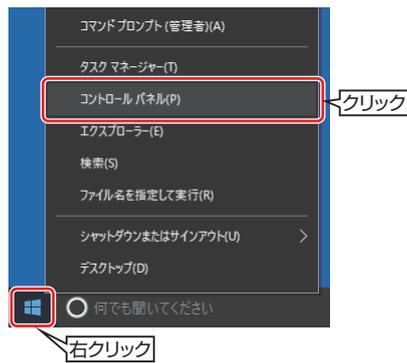
以上で ELECAM のインストール操作は終了です。

※ ELECAM の使用方法は、「ELECAM を起動する／終了する」(⇒ 6 ページ) を参照してください。

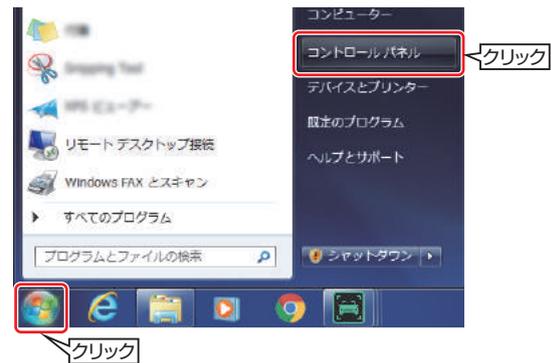
ELECAM をアンインストールする

1. スタートメニューを表示し、[コントロールパネル] をクリックします。

〈Windows 10 / 8.1 の場合〉



〈Windows 7 の場合〉



コントロールパネルが表示されます。

2. [プログラムと機能] をクリックします。

※ [プログラムと機能] が表示されていない場合は、画面右上の表示方法を変更してください。



3. 「ELECAM」を選択し、[アンインストール] をクリックします。

アンインストールを確認するメッセージが表示されます。



4. [はい] ボタンをクリックします。



5. 手順 3 の画面に戻りますので、「ELECAM」が表示されていないことを確認して、画面を閉じます。

以上で ELECAM のアンインストール操作は終了です。

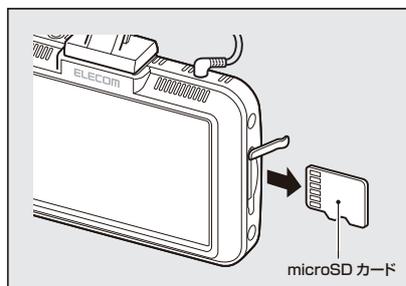
ELECAM を起動する / 終了する

ELECAM の起動手順ならびに終了手順を説明します。

microSD カードをパソコンにセットする

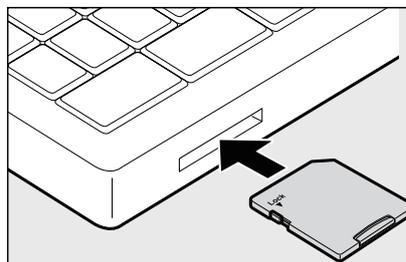
1. ドライブレコーダーの電源を切り、すべてのランプが消えたことを確認します。
2. ドライブレコーダーの SD カードスロットから microSD カードを取り出します。

※ドライブレコーダーにより microSD カードの取り出し方法が異なります。ドライブレコーダーに同梱の「スタートアップガイド (設置ガイド)」をご覧ください。



3. パソコンの microSD カードスロットに microSD カードをセットします。

必要に応じて、ドライブレコーダーに同梱の SD カードアダプタに microSD カードをセットして使用するか、またはパソコンに SD カードリーダーを接続し、SD カードリーダーに microSD カードをセットします。



メモ

[自動再生] ダイアログボックスが表示された場合は、[×] をクリックして閉じてください。

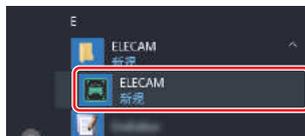
ELECAM を起動する

メモ

インストール時にデスクトップに作成された「ELECAM ショートカット」アイコンをクリックしても起動します。



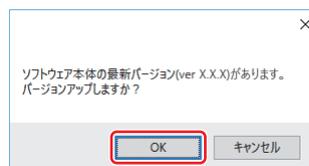
1. スタートメニューを表示し、[すべてのプログラム] をクリックします。
2. [ELECAM] フォルダを開き、[ELECAM] をクリックします。



ELECAM が起動して、ELECAM ウィンドウが開き、[読み込み日時] 画面が表示されます。

メモ

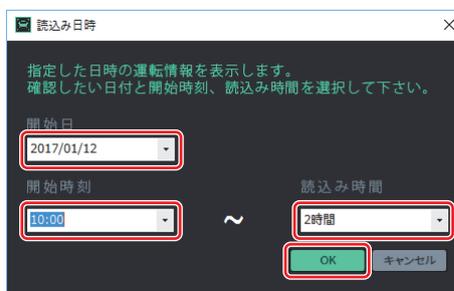
- 右記のダイアログボックスが表示されたときは、ELECAM の最新ソフトウェアがありますのでバージョンアップを行ってください。[OK] ボタンをクリックすると、「ELECAM をインストールする」(⇒ 3 ページ) の手順 2 の画面が表示されますので、手順 3 からのインストール操作を行ってください。インストールが終了したら、再度 ELECAM の起動を行ってください。
- 右記のダイアログボックスが表示されたときは、ドライブレコーダーの最新ファームウェアがありますのでバージョンアップを行ってください。[OK] ボタンをクリックします。最新のファームウェアが microSD カードに保存され、ELECAM が起動します。
※ファームウェアは microSD カードをドライブレコーダーに挿入して、電源をオンにしたときに新しいファームウェアで動作します。



- 再生したい映像ファイルの日時（開始日と開始時刻～読み込み時間）を指定して、[OK] ボタンをクリックします。

※「読み込み時間」で指定できる時間帯は、「開始時刻」から24時間以内です。

指定した日時に1番早い時間のデータが読み込まれたELECAMウィンドウが表示されます。



ELECAM を終了する

- ELECAM ウィンドウ右上の [×] をクリックします。



ELECAM ウィンドウの構成

ELECAM ウィンドウには、走行中の映像や地図のほかに、再生や設定のための操作アイコンなどが表示されます。



●映像表示領域

1 記録された映像が表示されます。
映像の下のスライダーをドラッグすると、再生中のファイルの映像を検索できます。

●再生操作

2	(前のイベント)	現在表示中のファイルの、1つ前のファイルを表示します。
	(1フレーム逆再生)	現在表示中のフレームの、1つ前のフレームを表示します。
	(逆再生)	逆方向に再生します。
	(一時停止)	再生中の映像を一時停止します。
	(再生)	再生を開始します。
	(1フレーム再生)	現在表示中のフレームの、次のフレームを表示します。
	(次のイベント)	現在表示中のファイルの、次のファイルを表示します。
	(リピート)	開始時刻と終了時刻を指定して、指定した範囲内で映像を繰り返し再生します。

●設定・保存・印刷などの操作

3	 (運転記録)	運転記録画面を表示します。(⇒ 12 ページ「運転記録を確認する」)
	 (印刷)	再生中の映像をキャプチャし、印刷します。
	 (オンラインマニュアル)	オンラインマニュアルを表示します。
	 (バックアップ)	記録されたデータをさまざまな形式でバックアップできます。(⇒ 18 ページ「データをパソコンにバックアップする」)
	 (開く)	microSD カード、またはパソコンの再生したい映像が保存されているフォルダーを選択し、映像を読み込みます。
	 (設定)	解像度やフレーム数、衝撃センサーの感度、録音など、記録に関する設定や microSD カードのフォーマットなどをします。(⇒ 15 ページ「設定を変更する」)

●衝撃センサー

4	衝撃センサーの値を表示します。データ中の位置を示すバー(または上部のスライダー)をドラッグすると、記録を検索することもできます。	
		

●再生速度・音量・スピード表示

5	再生速度	スライダーをドラッグすると、再生速度を調整できます。	
	音量	スライダーをドラッグすると、再生時の音量を調整できます。	
	スピード表示	記録された車の走行速度を表示します。 	※GPS データから計算された概算の速度です。厳密に車両の走行速度を示すものではありません。

●地図

6	[+] をクリックすると地図を表示できます。GPS の位置情報に基づいて、地図上に走行中の位置が表示されます。この機能を使うには、パソコンがインターネットに接続されている必要があります。また、位置情報を表示するには記録されたデータに GPS 情報が記録されている必要があります。 [-] をクリックすると地図を閉じます。
---	---

●ファイル情報

7	表示中の記録データが存在するドライブやフォルダーの情報・運転記録日時と、そこに含まれるファイルの一覧を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> フォルダパスのタイトル部の  をクリックすると、[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示され、データの読み込み先のフォルダーを指定できます。 運転記録時間のタイトル部の  をクリックすると、[読み込み日時] ダイアログボックスが表示され、読み込むファイルを指定できます。 [日時/時間] のタイトル部の  /  をクリックすると、運転時間をキーにしたソートができます。 イベントのタイトル部の  をクリックすると、[イベント検索] ダイアログボックスが表示され、イベントの種類で検索できます。
---	--

●イベント検索・読み込み日時

8	 (イベント検索)	通常録画のデータ、衝撃時のデータなど、種類を指定して、記録データを検索できます。(⇒ 11 ページ「イベントを検索する」)
	 (読み込み日時)	再生したい映像ファイルの日時(開始日と開始時刻～読み込み時間)を指定します。指定した映像ファイルはファイル一覧に表示されます。

記録された映像を再生する

microSD カードに記録された映像、音声を再生します。

メモ

- microSD カードをパソコンにセットする操作については「microSD カードをパソコンにセットする」(⇒ 6 ページ) を参照してください。
- ELECAM の起動操作については「ELECAM を起動する」(⇒ 6 ページ) を参照してください。

microSD カードに記録された映像を再生する

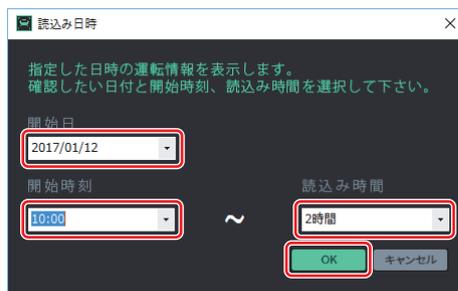
パソコンの SD カードスロットに挿入された microSD カードから記録された映像を再生します。

1. パソコンに microSD カードをセットし、ELECAM を起動します。

ELECAM が起動すると、ELECAM ウィンドウが開き、[読み込み日時] ダイアログボックスが表示されます。

2. 再生したい映像ファイルの日時（開始日と開始時刻～読み込み時間）を指定して、[OK] ボタンをクリックします。

指定した日時に 1 番早い時間のデータが読み込まれて表示され、一時停止の状態になります。



3. (再生) をクリックします。



再生が開始されます。

4. (次のイベント) や (前のイベント) などを使用して、再生したい映像を表示します。

メモ

再生する映像の操作や映像の検索については、下記を参照してください。

- 再生操作のアイコン：「●再生操作」(⇒ 8 ページ)
- 再生スピードの調整：「●再生速度・音量・スピード表示」(⇒ 9 ページ)
- イベントの種類で検索：「●イベント検索・読み込み日時」(⇒ 9 ページ)
- 地図上の車の位置：「●地図」(⇒ 9 ページ)

パソコンにバックアップした映像を再生する

パソコンにバックアップした映像を再生します。

メモ

- ELECAM を使って再生できる映像は、microSD カードと同じ構成（フォルダや映像以外のデータ含む）になっている必要があります。
- バックアップについては「データをパソコンにバックアップする」(⇒ 18 ページ) を参照してください。

1. ELECAM ウィンドウの (開く) をクリックします。

[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。

2. データが保存されているフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

選択したフォルダー内のファイルが ELECAM ウィンドウのファイル一覧に表示されます。

3. 再生するファイルをクリックします。

選択したファイルの再生が開始されます。

全画面表示にする

ELECAM ウィンドウの映像表示領域をダブルクリックすると、全画面表示になります。元の表示に戻すには、もう一度映像表示領域をダブルクリックします。

●全画面表示のアイコン



画像の一部を拡大する

映像の一部を拡大して表示できます。マウスの右ボタンでクリックすると、クリックした部分が映像表示領域とは別に拡大表示領域に拡大されて表示されます。この領域は、マウスでドラッグすると映像表示領域のどこにでも移動できます。拡大表示を止めるには、もう一度マウスの右ボタンをクリックします。

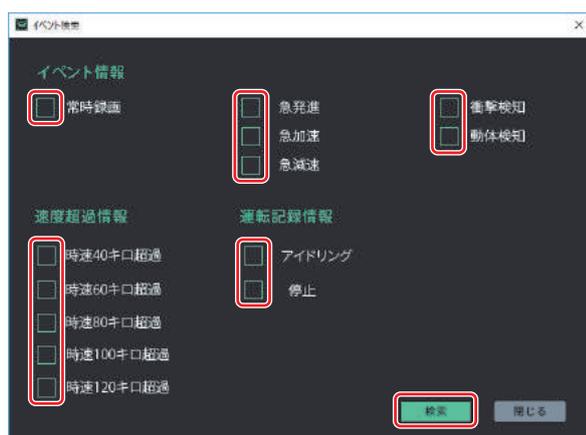


●拡大表示領域
右クリックした点を中心に
映像を拡大表示します。

イベントを検索する

 (イベント検索) をクリックすると、イベントの種類を選択するダイアログボックスが表示されます。

イベントの種類を選択し、[検索] ボタンをクリックすると、選択した種類のイベントだけがファイル一覧に表示されます。



※録画をした製品により、表示される内容が異なる場合があります。

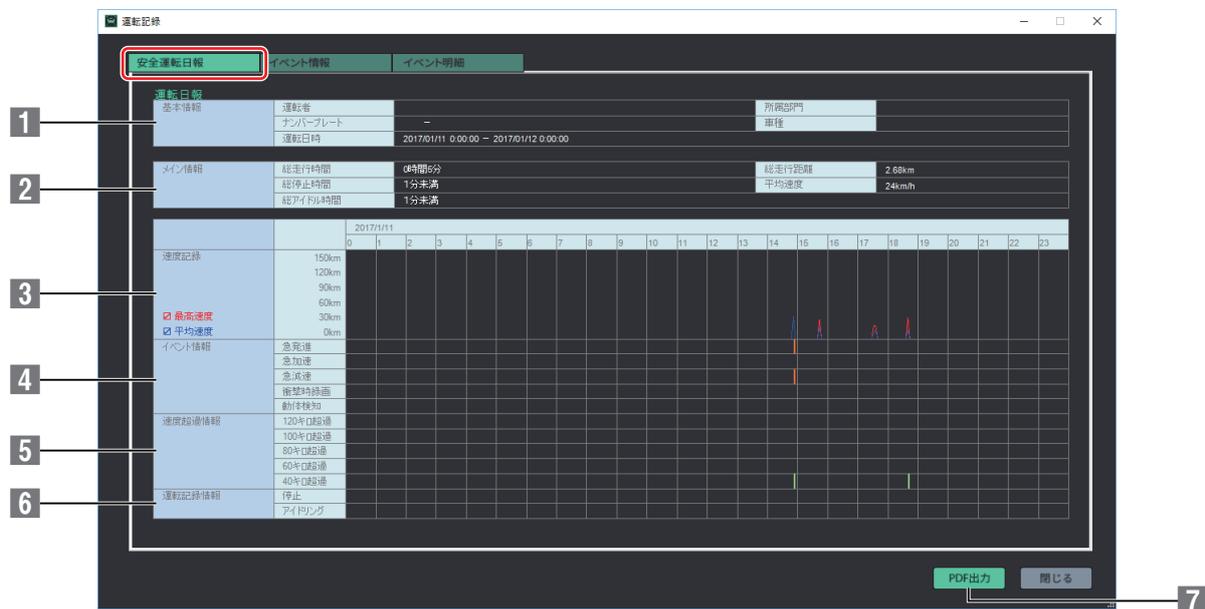
運転記録を確認する

(運転記録) をクリックすると、運転記録が表示されます。

運転記録は、「安全運転日報」、「イベント情報」「イベント明細」の3画面があります。

●安全運転日報

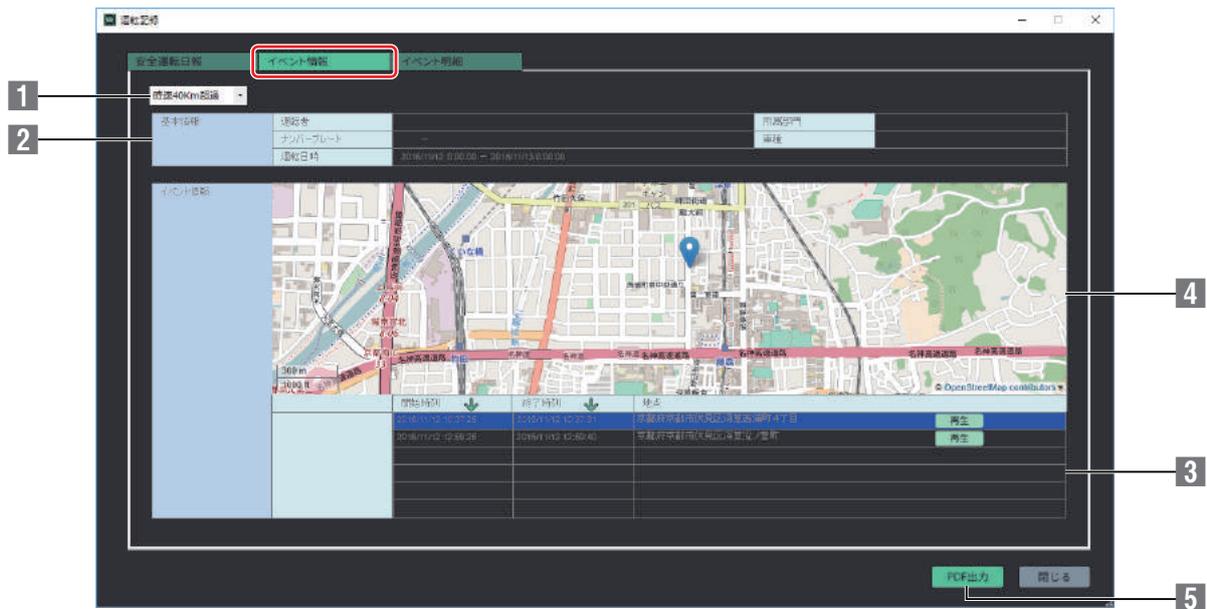
[安全運転日報] タブをクリックすると表示されます。



1	基本情報	ユーザー情報を表示します。 ※ [設定] ダイアログボックスの「ユーザー情報」タブで設定した情報です。
2	メイン情報	記録された映像の情報を表示します。 表示される情報は以下のとおりです。 ・総走行時間 ・総停止時間 ・総アイドル時間 ・総走行距離 ・平均速度
3	速度記録	走行速度を折れ線グラフで表示します。(縦軸：走行速度、横軸：走行時刻) 赤線が最高速度、青線が平均速度を示します。 <input checked="" type="checkbox"/> により、最高速度および平均速度のグラフの表示/非表示が選択できます。
4	イベント情報	「急発進」「急加速」「急減速」「衝撃時録画」「動体検知」の各イベントが発生した時刻をグラフに表示します。 ※「急発進」「急加速」「急減速」の判定は、[設定] ダイアログボックスの「運転記録設定」タブで設定した検知ルールに基づきます。 ※録画をした製品により、表示内容が異なる場合があります。
5	速度超過情報	「速度超過」が発生した時刻をグラフに表示します。 超過速度は、40 キロ / 60 キロ / 80 キロ / 100 キロ / 120 キロです。
6	運転記録情報	「停止」「アイドルング」が発生した時刻をグラフに表示します。 ※「停止」「アイドルング」の判定は、[設定] ダイアログボックスの「運転記録設定」タブで設定した検知ルールに基づきます。
7	PDF 出力	この画面に表示されている情報を PDF として保存するときにクリックします

● イベント情報

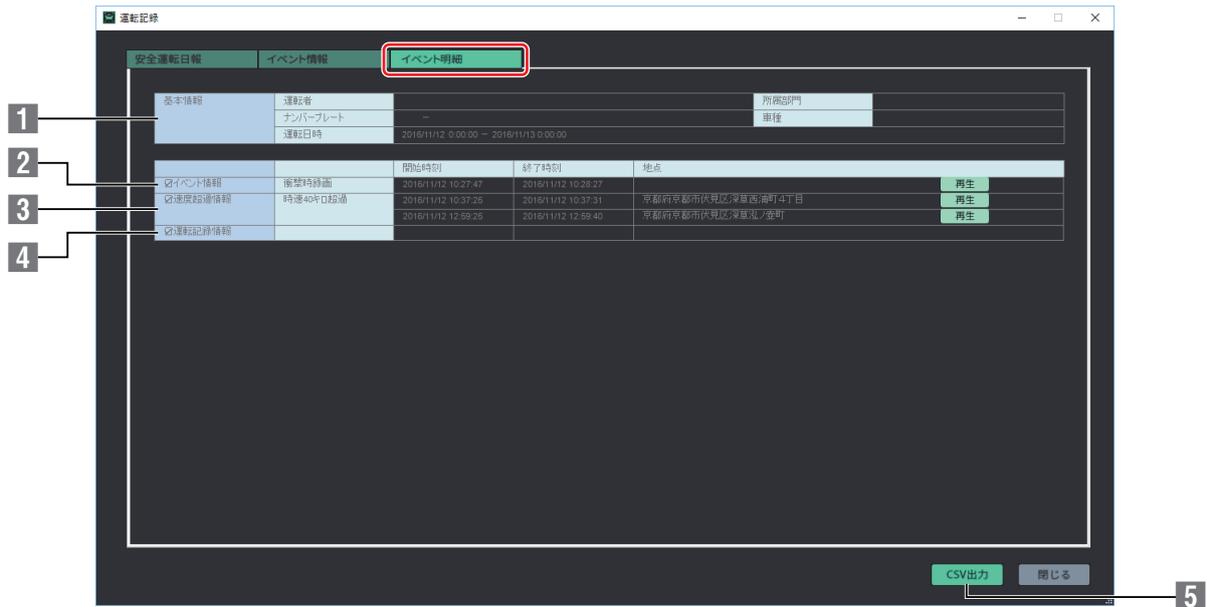
[イベント情報] タブをクリックすると表示されます。



1	イベント検索	表示するイベントを検索します。 選択できるイベント検索項目は以下のとおりです。 ・急発進 ・急加速 ・急減速 ・衝撃時録画 ・時速超過 (40Km / 60Km / 80Km / 100Km / 120Km) ・停止 ・アイドリング ・動体検知 ※ 録画をした製品により、表示内容が異なる場合があります。
2	基本情報	ユーザー情報を表示します。 ※ [設定] ダイアログボックスの「ユーザー情報」タブで設定した情報です。
3	検索結果一覧	検索されたイベントの情報 (開始時刻 / 終了時刻 / 地点) を一覧表示します。 [再生] ボタンをクリックすると、イベント発生時点の映像を再生します。
4	地図	検索結果一覧で選択した映像のイベント発生地点を地図上に示します。
5	PDF 出力	この画面に表示されている情報を PDF として保存するときにクリックします。

● イベント明細

[イベント明細] タブをクリックすると表示されます。



1	基本情報	ユーザー情報を表示します。 ※ [設定] ダイアログボックスの「ユーザー情報」タブで設定した情報です。
2	イベント情報	「急発進」「急加速」「急減速」「衝撃時録画」「手動録画」の各イベントが発生した情報（開始時刻／終了時刻／地点）を一覧表示します。 [再生] ボタンをクリックすると、イベント発生時点の映像を再生します。 <input checked="" type="checkbox"/> を外すと、この項目は一覧表示されません。 ※ 録画をした製品により、表示内容が異なる場合があります。
3	速度超過情報	「速度超過」が発生した情報（開始時刻／終了時刻／地点）を一覧表示します。 超過速度は、40 キロ / 60 キロ / 80 キロ / 100 キロ / 120 キロです。 [再生] ボタンをクリックすると、速度超過発生時点の映像を再生します。 <input checked="" type="checkbox"/> を外すと、この項目は一覧表示されません。
4	運転記録情報	「停止」「アイドリング」が発生した情報（開始時刻／終了時刻／地点）を一覧表示します。 [再生] ボタンをクリックすると、運転記録発生時点の映像を再生します。 <input checked="" type="checkbox"/> を外すと、この項目は一覧表示されません。
5	CSV 出力	この画面に表示されている情報を CSV 形式のデータとして保存するときにクリックします。

設定を変更する

ELECAM では、映像や音声に関する設定、衝撃センサーの襲撃検知などによる録画（イベント録画）の設定、ユーザー情報など、記録に関するさまざまな情報を設定できます。

メモ

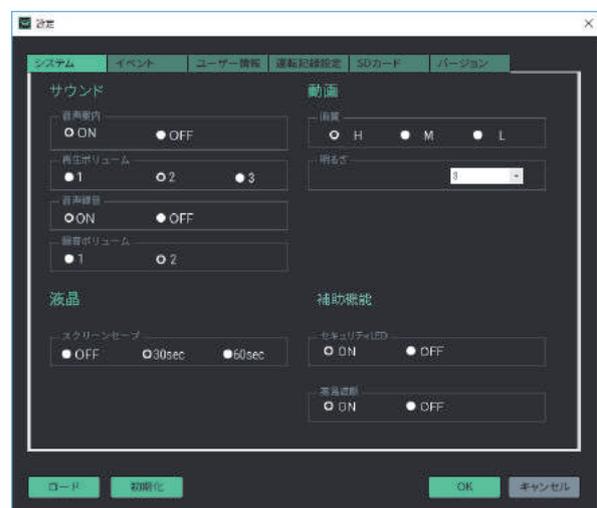
- microSD カードをパソコンにセットする操作については「microSD カードをパソコンにセットする」(⇒ 6 ページ) を参照してください。
- ELECAM の起動操作については「ELECAM を起動する」(⇒ 6 ページ) を参照してください。

設定を変更する

1. microSD カードをパソコンにセットします。
2. ELECAM を起動します。
3. ELECAM ウィンドウの  (設定) をクリックします。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。

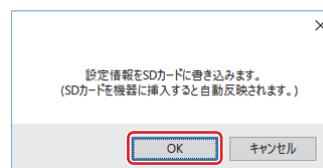
4. 必要に応じて、タブを選択して各項目を設定し、[OK] ボタンをクリックします。
設定は、microSD カード内に「setup.cfg」という名称のファイルとして保存されています。

設定内容については、次項の「設定項目の一覧」を参照してください。



既存の設定を microSD カードへの書き込みを確認するメッセージが表示されます。

5. [OK] ボタンをクリックします。



設定した値が microSD カードに保存されます。

メモ

- [初期化] ボタンをクリックすると、「システム」「イベント」「ユーザー情報」の各タブで設定した内容を ELECAM のインストール直後の値に戻すことができます。
- [ロード] ボタンをクリックすると、既存の記録設定を読み込むことができます。複数枚の microSD カードを同じ内容で利用するときには、[ロード] ボタンで同一の設定ファイルを読み込むと、設定操作の手間を省くことができます。

設定項目の一覧

※本設定は、録画した製品により、表示内容が異なる場合があります。

※本ガイドでは、LVR-DR230F シリーズを例として記載しています。

● システムタブ

設定項目	設定内容と設定値
サウンド	音声案内 音声案内の ON/OFF を設定します。「ON」、「OFF」のどちらかを選択します。 ※初期値は「ON」
	再生ボリューム 再生時のスピーカー音量を設定します。「1 (小)」、「2 (中)」、「3 (大)」のいずれかを選択します。 ※初期値は「2 (中)」
	音声録音 音声録音の ON/OFF を設定します。「ON」、「OFF」のどちらかを選択します。 ※初期値は「ON」
	録音ボリューム 録画時の録音音量を設定します。「1 (小)」、「2 (大)」のいずれかを選択します。 ※初期値は「2 (大)」
動画	画質 録画する画質を設定します。「H(最高画質)」、「M(高画質)」、「L(一般画質)」のいずれかを選択します。 ※初期値は「H (最高画質)」
	明るさ カメラの明るさを設定します。「- 5」～「+ 5」のいずれかを選択します。 ※初期値は「3」
液晶	スクリーンセーブ スクリーンセーブ (液晶表示オフ) になるまでの時間を設定します。「OFF」、「30sec (秒)」、「60sec (秒)」のいずれかを選択します。 ※初期値は「30sec (秒)」
補助機能	セキュリティ LED セキュリティ LED の ON/OFF を設定します。「ON」、「OFF」のどちらかを選択します。 ※初期値は「ON」
	高温遮断 高温遮断の ON/OFF を設定します。「ON」、「OFF」のどちらかを選択します。 ※初期値は「ON」 ・高温遮断：駐車モード時に、車内が高温になったときに、ドライブレコーダーへの電源供給を遮断して故障を未然に防ぐ機能です。

● イベントタブ

設定項目	設定内容と設定値
感度	衝撃センサー 走行時の衝撃センサーの感知レベルを設定します。「OFF」、「1」～「5」のいずれかを選択します。 ※初期値は「3」
	衝撃センサー (駐車) 駐車中 (駐車モード時) の衝撃センサーの感知レベルを設定します。「OFF」、「1」～「5」のいずれかを選択します。 ※初期値は「3」
	動体検知 駐車中 (駐車モード時) の動体検知レベルを設定します。「OFF」、「1」～「5」のいずれかを選択します。 ※初期値は「3」
駐車モード	遮断電圧 駐車モード時に車両バッテリーの過放電を遮断する電圧を設定します。「OFF」、「11.4 (23.1)」、「11.6 (23.4)」、「11.8 (23.7)」、「12.0 (24.0)」、「12.2 (24.3)」のいずれかを選択します。 ※初期値は「12.2 (24.3)」 ※本設定は、専用直結ケーブルにて取り付けられている製品に限り、有効な設定です。
データ	保存領域 microSD カード内のイベント記録用の領域を設定します。 [▼] をクリックして、「イベントデータ」と「動体検知データ」の領域の大きさを%で設定し、残りの領域が「常時録画データ」に割り当てられます。 それぞれの領域は 10%以下には設定できません。 ※初期値は、イベント「30%」、動体検知「20%」、常時録画「50%」

●ユーザー情報タブ

設定したユーザー情報は運転記録に反映されます。

設定項目	設定内容と設定値
ユーザー情報	「運転者」「所属部門」「車種」を登録します。 登録した情報は、運転記録に表示されます。
ナンバープレート	ナンバープレートの情報を登録します。 登録した情報は、運転記録に表示されます。

●運転記録設定

運転記録に記録される運転イベントの判定ルールを設定します。

設定項目	設定内容と設定値	
運転イベントの 検知ルール設定	急発進	「急発進」と判定するルールを設定します。 停止状態から「 5 」秒後の速度が「 40 」kmを超えた場合（初期値） ※太字の秒数と速度を設定します。
	急加速	「急加速」と判定するルールを設定します。 走行中に「 5 」秒前よりも、速度が「 40 」km早くなった場合（初期値） ※太字の秒数と速度を設定します。
	急減速	「急減速」と判定するルールを設定します。 走行中に「 5 」秒前よりも、速度が「 40 」km遅くなった場合（初期値） ※太字の秒数と速度を設定します。
	停止	「停止」と判定するルールを設定します。 停車状態が「 5 」分以上続いた場合（初期値） ※太字の分数を設定します。
	アイドリング	「アイドリング」と判定するルールを設定します。 停車中に振動している状態が「 5 」分以上続いた場合（初期値） ※太字の分数を設定します。

※ [初期設定に戻す] ボタンをクリックすると初期設定に戻すことができます。

●SDカードタブ

microSD カードのフォーマットができます。詳細は「ELECAM で microSD カードをフォーマットする」(⇒ 20 ページ) を参照してください。

●バージョン情報タブ

ELECAM とドライブレコーダーのファームウェアのバージョン情報が表示されます。

最新のバージョンを確認することもできます。またファームウェアを更新することもできます。

データをパソコンにバックアップする

microSD カードに記録されたデータ、記録設定をパソコンにバックアップ（保存）します。

記録データをバックアップする

microSD カードに記録されたデータの種類を指定してバックアップします。指定できるデータの種類の種類は 3 種類です。

保存形式	説明
静止画 (.jpg)	JPEG 形式の静止画（拡張子：jpg）で保存します。
G センサーデータ (.txt)	G センサーの値をテキストファイルで保存します。
GPS (.txt)	GPS の値をテキストファイルで保存します。

メモ

- microSD カードをパソコンにセットする操作については「microSD カードをパソコンにセットする」（⇒ 6 ページ）を参照してください。
- ELECAM の起動操作については「ELECAM を起動する」（⇒ 6 ページ）を参照してください。

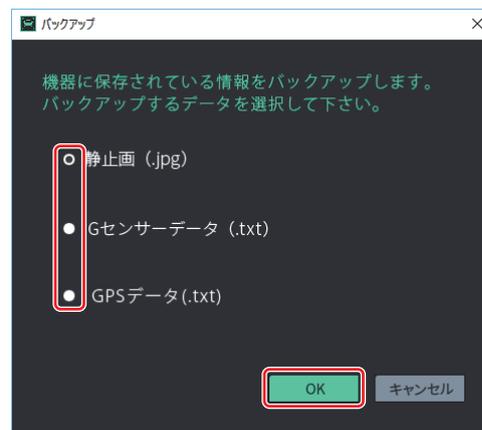
1. ELECAM ウィンドウの (バックアップ) をクリックします。

[バックアップ] ダイアログボックスが表示されます。

2. バックアップするファイル形式を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。

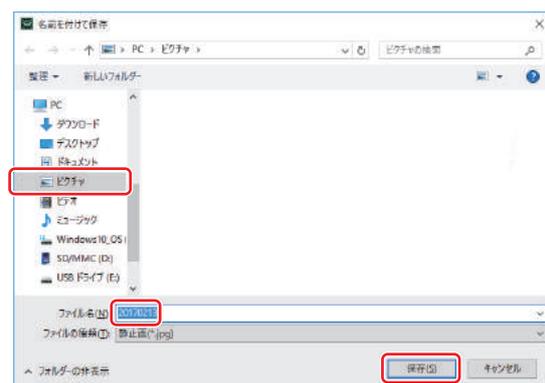
- 静止画 (.jpg)：通常の保存先は「ピクチャ」フォルダーが指定されます。
- G センサーデータ (.txt)、GPS (.txt)：通常の保存先は「ドキュメント」フォルダーが指定されます。



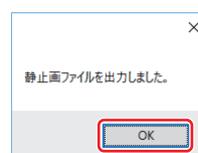
3. 保存先を確認して、ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。

バックアップを開始します。バックアップするデータの種類のによっては、保存に時間がかかる場合があります。

バックアップが終了すると、「静止画ファイルを出力しました。」などのバックアップしたファイルに応じたメッセージが表示されます。



4. [OK] ボタンをクリックします。



記録設定をバックアップする

microSD カード内の設定ファイルをパソコンにバックアップ（保存）します。

設定ファイルは、microSD カードに「setup.cfg」というファイル名で保存されています。

メモ

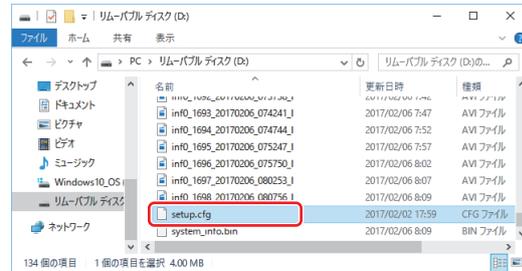
- microSD カードをパソコンにセットする操作については「microSD カードをパソコンにセットする」（⇒ 6 ページ）を参照してください。

1. microSD カードをパソコンにセットします。

2. エクスプローラーを起動し、microSD カードのフォルダーを表示します

3. 「setup.cfg」を選択し、任意の保存場所にコピーします。

必要に応じて、ファイル名を変更することもできます。ただし、拡張子 (.cfg) は変更しないでください。

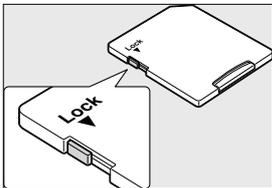


ELECAM で microSD カードをフォーマットする

microSD カードをドライブレコーダーにセットすると、記録に必要な設定が書き込まれます。必要に応じて、ELECAM で microSD カードをフォーマットすることができます。

注意

- SD カードアダプタを使用する場合は、フォーマットする前に SD カードアダプタがロックされていないことを確認してください。



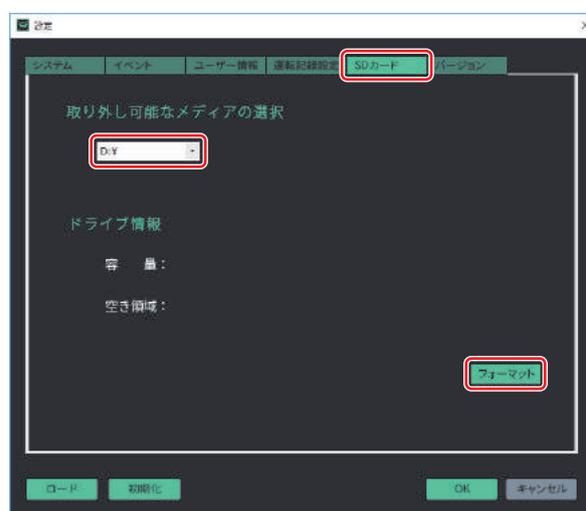
- SD カードアダプタのロックを外してもフォーマットできないときは次のことを確認します。Administrator 権限のユーザーでないとフォーマット操作はできません。Administrator 権限でログインしてください。

メモ

- microSD カードをパソコンにセットする操作については「microSD カードをパソコンにセットする」(⇒ 6 ページ) を参照してください。
- ELECAM の起動操作については「ELECAM を起動する」(⇒ 6 ページ) を参照してください。

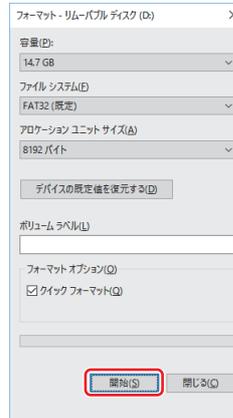
microSD カードをフォーマットする

- ELECAM ウィンドウの  (バックアップ) をクリックします。
[設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 「SD カード」タブをクリックします。
- 「取り外し可能なメディアの選択」の  をクリックして、microSD カードのドライブ名を選択します。
- 「フォーマット」ボタンをクリックします。



[フォーマット] ダイアログボックスが表示されます。

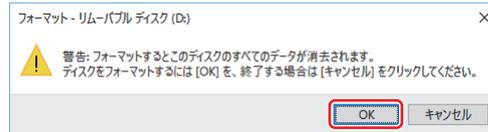
5. [開始] ボタンをクリックします。



フォーマットを確認するメッセージが表示されます。

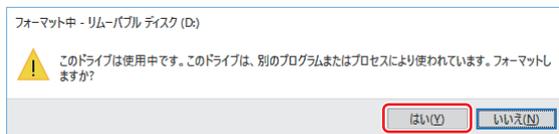
6. [OK] ボタンをクリックします。

フォーマットが開始されます。終了すると、メッセージが表示されます。

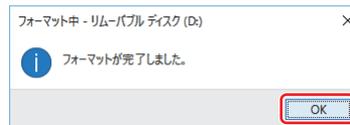


メモ

下記のメッセージが表示された場合は、[はい] ボタンをクリックしてください。



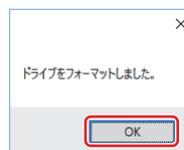
7. [OK] ボタンをクリックします。



8. [閉じる] ボタンをクリックして、[フォーマット] ダイアログボックスを閉じます。



9. [OK] ボタンをクリックします。



10. [設定] ダイアログボックスの [閉じる] ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

製品仕様

■ ELECAM 動作要件

対応 OS	Windows 7 (32bit/64bit)、Windows 8.1 (32bit/64bit)、 Windows 10 (32bit/64bit)
パソコン推奨環境	グラフィック：WXGA (1280 × 768) 以上の解像度

ユーザーサポート

■製品に関するお問い合わせ

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入、ご使用による問い合わせ。サポートは致しかねます。

また日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available to inquiries about purchases or usage in/from any other countries than Japan.

No foreign languages other than Japanese is also available.

A customer who purchases outside Japan will contact for inquiries the local retailer in the country of purchase.

Replacement will be made under stipulation of the Elecom warranty, but not available from outside of Japan.

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support

こちらから「製品Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL :0570-084-465

FAX :0570-050-012

[受付時間]

10:00~19:00 年中無休

ホームページでも詳細な接続手順を確認できます。

「えれさぼ」で検索してください。



お問い合わせの前に、次の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
- ・ ご利用の車種
- ・ ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）
※可能なかぎり、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

ELECOM

ELECAM 操作ガイド
2017年2月第1版
ELECOM

©2017 ELECOM CO., LTD. All rights reserved.